

6. 基本方針に基づく戦略と施策

6-1 基本方針に基づく戦略

□ 都市交通体系の基本方針に基づく4つの戦略を設定し、各戦略に沿った交通施策を展開します。

方針Ⅰ

持続可能な暮らしを支える地域公共交通の維持、確保

誰もが利用しやすく、快適に移動できる交通環境を構築するため、拠点を中心としたまちづくりを進め、多様な移動手段が連携した地域公共交通の維持、確保を目指します。

戦略

1

生活を支える
「安全、快適な交通環境」の確保

高齢者をはじめ、誰もが利用しやすく、快適に移動できる交通環境を構築するため、都市圏各拠点間の連携強化、機能分担を図り、新たなモビリティの活用も含め、多様な移動手段が連携した地域公共交通の維持、確保を目指します。

方針Ⅱ

地域資源を活かした活発な観光交流を生み出す交通環境の充実

世界に誇る恵まれた自然環境や観光資源を活かした都市圏観光産業の活性化を支援するため、多様な移動手段が連携した、観光周遊性の高い魅力ある交通環境の構築、充実を目指します。

戦略

2

世界に誇る
「観光モビリティサービス」の構築

伊豆半島ジオパークなど、都市圏に点在する世界に誇る観光資源のネットワーク化、新たなモビリティの活用も含め、多様な移動手段が連携した観光周遊性の高い交通環境の構築、充実を目指します。

方針Ⅲ

交流、連携を促進する広域的な移動ネットワークの構築

都市圏内外の活発な交流、連携の促進を図るとともに社会経済活動の活性化を支援するため、鉄道主要駅や道路インターチェンジ等と都市拠点を連絡する広域的な移動ネットワークの形成を目指します。

戦略

3

広域連携、交流を支える
「都市連携軸」の強化

広域道路をはじめとする都市圏軸や交通結節点の整備により、鉄道主要駅や道路インターチェンジ等と都市拠点を連絡する広域的な移動ネットワークを形成することで、都市活力の創出、向上を目指します。

方針Ⅳ

リスクに備えた安全、安心な交通環境の確保

南海トラフ巨大地震や頻発化、激甚化する自然災害の脅威や地域の孤立等に対する不安を軽減するため、災害発生後、都市機能の早期回復を支える交通環境の確保を目指します。

戦略

4

命を守る
「防災、減災機能」の強化

南海トラフ巨大地震や頻発化、激甚化する自然災害の脅威が迫るなか、災害に備え、速やかな支援、復旧ルートを確保することにより、都市機能の早期回復が可能となる交通環境の確保を目指します。

【戦略と交通施策の関係】

交通体系の基本方針		交通ネットワーク計画	
		道路網計画	公共交通計画
戦略1	「安全、快適な交通環境」の確保	<ul style="list-style-type: none"> 道路空間を活用したまちなか回遊性の向上 安全な歩行者、自転車空間の確保 	<ul style="list-style-type: none"> 地域の核となる交通結節点の構築 公共交通ネットワークの維持 コミュニティ交通の充実 高齢者の安全運転、運転免許自主返納支援
戦略2	「観光モビリティサービス」の構築	<ul style="list-style-type: none"> 円滑な観光周遊ネットワークの形成 	<ul style="list-style-type: none"> 域内交通との連携による観光二次交通の充実 新たなモビリティサービスの活用 ICTの活用による多様な交通手段が連携した交通システムの構築
戦略3	「都市連携軸」の強化	<ul style="list-style-type: none"> 広域道路、広域幹線道路の強化 物流や地域間連携を支えるネットワークの機能強化 	<ul style="list-style-type: none"> 広域交通結節点の機能強化
戦略4	「防災、減災機能」の強化	<ul style="list-style-type: none"> 緊急輸送路のネットワーク強化 避難路の整備 事前都市復興計画策定等の推進 	<ul style="list-style-type: none"> 情報提供、代替手段の確保

戦略1. 生活を支える「安全、快適な交通環境」の確保

考え方

高齢者をはじめ、誰もが利用しやすく、快適に移動できる交通環境を構築するため、都市圏各拠点間の連携強化、機能分担を図り、新たなモビリティの活用も含め、多様な移動手段が連携した地域公共交通の維持、確保を目指します。

施策

● 道路空間を活用したまちなか回遊性の向上

✓ 道路空間の再配分やオープンカフェ設置など、まちなかの憩いやにぎわい創出を図ります。

- ・旧下田町の歩車共存によるウォークアブルなまちの形成
- ・ウィズコロナの中での観光交流滞在時間の増加施策整備
- ・都市計画道路下田港横枕線の整備

等

● 安全な歩行者、自転車空間の確保

✓ 歩行者、自転車が安全で快適に移動できる歩行者、自転車ネットワークの形成を図ります。

- ・国道135号、国道136号、主要地方道下佐ヶ野谷津線、都市計画道路下田港横枕線の整備
- ・歩道の整備、改修、防草工
- ・ゾーン30プラスの取組推進
- ・通学路における安全性向上
- ・連続した自転車ネットワークの整備

等

● 地域の核となる交通結節点の構築

✓ 地域の核となる交通結節点の機能向上、構築を図ります。

- ・伊東駅前広場の改良
- ・バスを中心とした交通結節点の構築
- ・伊豆急下田駅周辺地区再整備
- ・基幹的公共交通の運行支援
- ・河津駅前広場改修事業

等

● 公共交通ネットワークの維持

✓ 拠点を中心としたまちづくりを進めるため、拠点間を結ぶ公共交通ネットワークの維持、利便性向上を図ります。

- ・都市機能の集約等に伴う公共交通網のあり方検討
- ・バス路線の利便性向上に向けた検討
- ・新たなモビリティの活用を含めた公共交通ネットワークのあり方検討

等

● コミュニティ交通の充実

✓ 拠点内移動や公共交通の需要が少ない地域の移動を支えるため、地域ごとの生活スタイルを踏まえたコミュニティ交通の充実を図ります。

- ・公共交通空白地域における新たな移動手段の導入に向けた検討
- ・新たなモビリティの活用を含めた生活交通の維持確保に向けた検討
- ・地域の移動を支えるコミュニティバスの運行
- ・コミュニティバスの運行支援
- ・デマンド型交通の拡充
- ・自家用有償旅客運送の運行
- ・居住誘導区域外の交通のあり方検討

等

● 高齢者の安全運転、運転免許自主返納支援

✓ 運転に不安を感じている高齢ドライバーの安全運転の支援や運転免許を自主的に返納しやすい環境づくりを行います。

- ・安全運転技術の高い自動車の普及支援
- ・高齢者運転免許証自主返納支援事業の推進
- ・公共交通やタクシー利用補助の拡充
- ・ユニバーサルデザイン対応バス車両の導入支援

等

主要交通施策の例

【安全な歩行者、自転車空間の確保】

生活道路における人優先の安全・安心な通行空間の整備の更なる推進により、交通安全の向上を図り、安全な歩行者空間を確保します。

また、安全で快適な自転車利用環境創出を促進する上で特に重要と考えられる「自転車ネットワーク計画策定の早期進展」と、「安全な自転車通行空間の早期確保」を推進します。

生活道路の交通安全に係る新たな連携施策「ゾーン30プラス」

- 最高速度30km/hの区域規制と物理的デバイスとの適切な組合せにより交通安全の向上を図ろうとする区域を「ゾーン30プラス」として設定

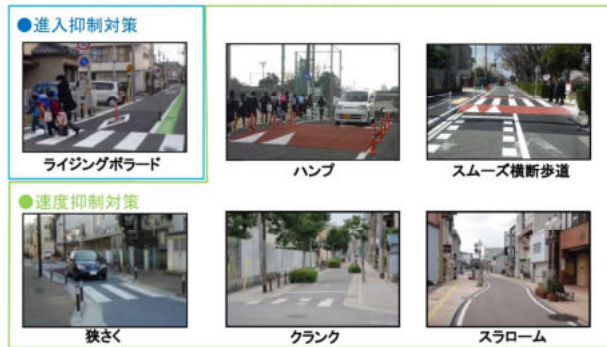
- 道路管理者と警察が緊密に連携し、地域住民等の合意形成を図りながら、生活道路における人優先の安全・安心な通行空間を整備



<警察による交通規制>

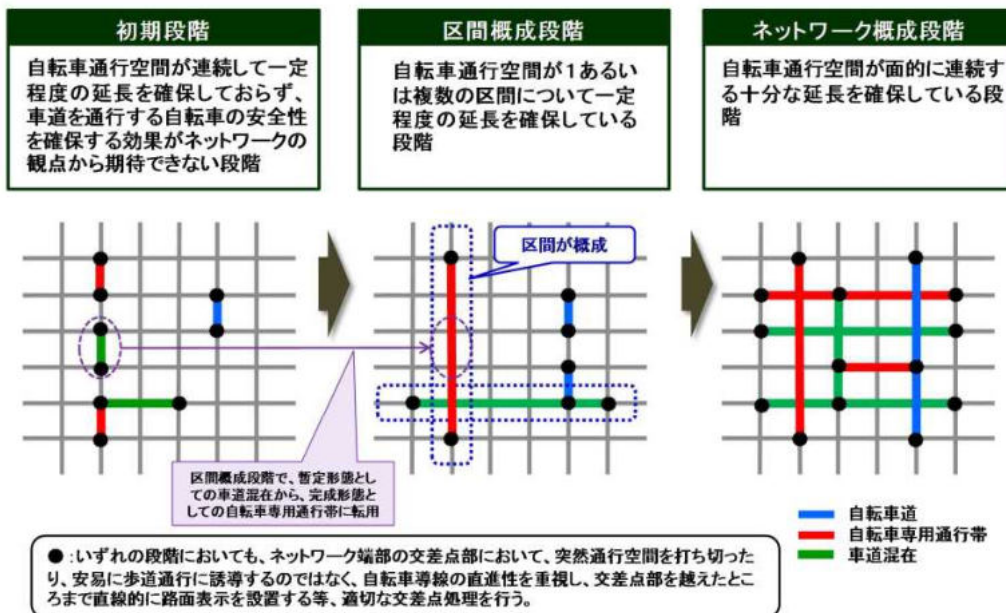


<道路管理者による物理的デバイスの設置>



出典) 国土交通省「生活道路の交通安全に係る新たな連携施策「ゾーン30プラス」について」

▼自転車ネットワークの形成



出典) 安全で快適な自転車利用寛容創出に関する検討委員会
「「自転車ネットワーク計画策定の早期進展」と「安全な自転車通行空間の早期確保」に向けた提言」

主要交通施策の例

【地域の核となる交通結節点の構築】

公共交通サービスの中核を担う交通結節点は、数多ある都市機能の中でも、特に重要な機能のひとつであり、ゆとりある空間や工夫された動線などを整備し、円滑な移動や滞在するための空間が確保され、時代や地域のニーズに合った機能を備えることが求められています。

▼伊豆急下田駅周辺地区のまちづくり

▼河津駅前広場の改修事業検討



出典) 広報しもだ平成31年3月号

【バスを中心とした交通結節点の構築】

道路ネットワークの機能を最大限発現するためには、交通拠点の整備を通じて、バス等の公共交通を含む道路ネットワーク全体をマネジメントすることが重要である。

伊豆東海岸都市圏においては、地域の拠点施設と一体、またはバスを中心として、乗用車、自転車、徒歩等を含めた交通モード相互の乗換え時の利便性向上・賑わい創出等を目的とした交通拠点の構築が求められます。



出典) 国土交通省「交通拠点の機能強化に関する計画ガイドライン」

主要交通施策の例

【都市機能の集約等に伴う公共交通網のあり方検討】

下田市役所の「新庁舎」が稲生沢地区（蓮台寺駅前）に開庁予定であり、伊豆急下田駅から新庁舎への連絡強化が課題です。また、令和4年4月から、下田中学校、稲生沢中学校、下田東中学校、稲梓中学校の4校が統合され、現下田中学校に「新中学校」が開校します。

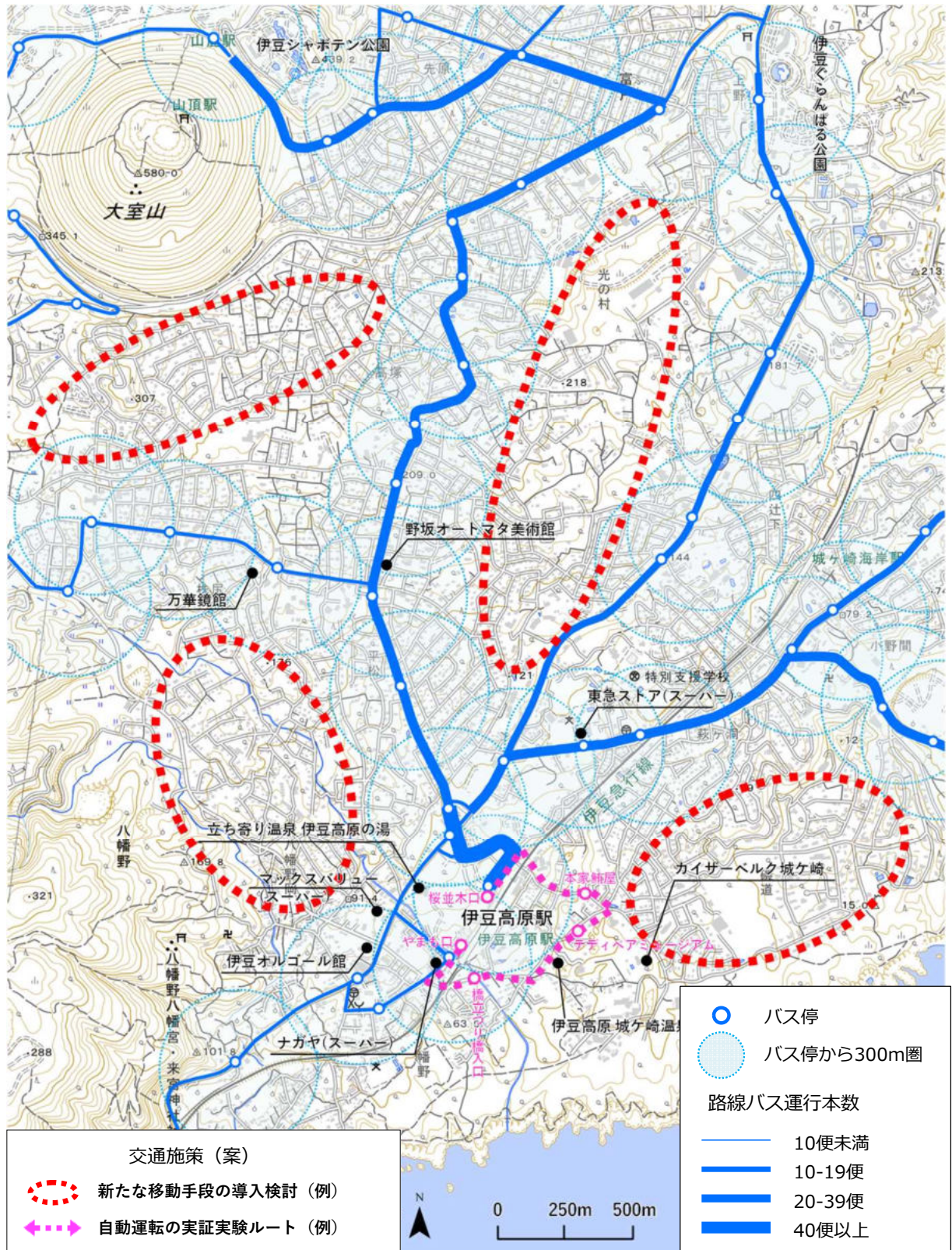
これら「新たな拠点」と伊豆急下田駅や各地区との連絡を確保するため、バス路線の強化や通学時間帯の増便等について検討します。



主要交通施策の例

【公共交通空白地域における新たな移動手段の導入に向けた検討】

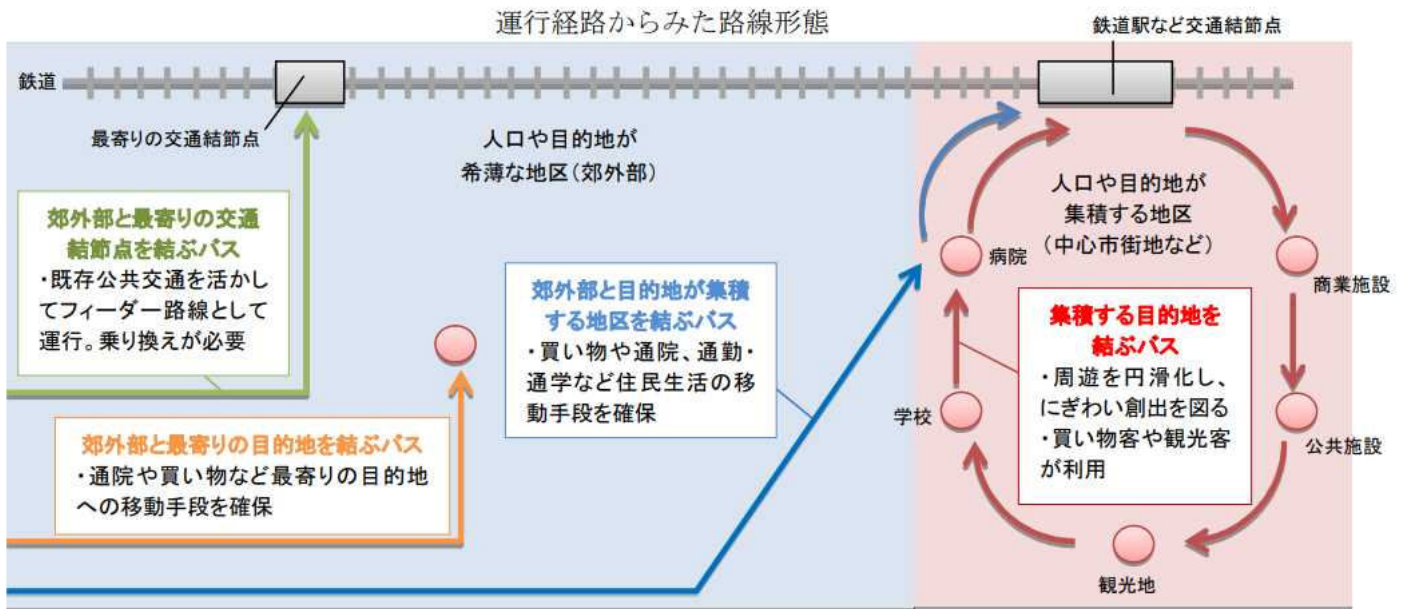
伊豆高原駅の南東（海岸側）では公共交通がないことから、地域内の新たな移動手段としても活用できる自動運転等の実証実験を実施しています。この地域以外でも、既存バス停の300m圏から外れた公共交通空白地域が点在していることから、今後、地域の住民とともに新たな移動手段の導入も含めて検討していきます。



主要交通施策の例

【地域の移動を支えるコミュニティバスの運行】

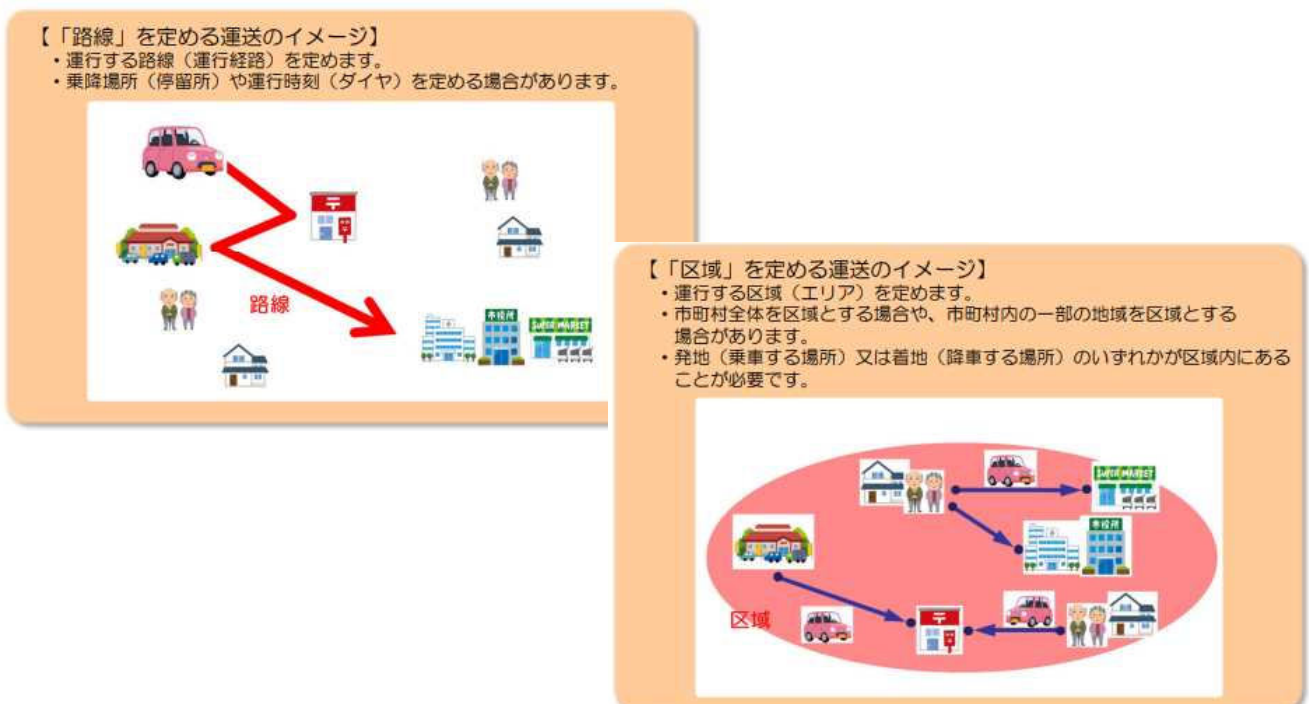
民間路線バスの廃止や住民からの要望などのケースから、自治体において、住民の移動手段の確保の必要性から、コミュニティバスの運行に取り組んでいきます。



出典) 国土交通省「コミュニティバスの導入に関するガイドライン」

【自家用有償旅客運送の運行】

都市、既存のバス・タクシー事業者による輸送サービスの提供が困難な場合には、地域の関係者による協議を経た上で、道路運送法の登録を受け、必要な安全上の措置が講じられた「自家用有償旅客運送」を活用することができます。

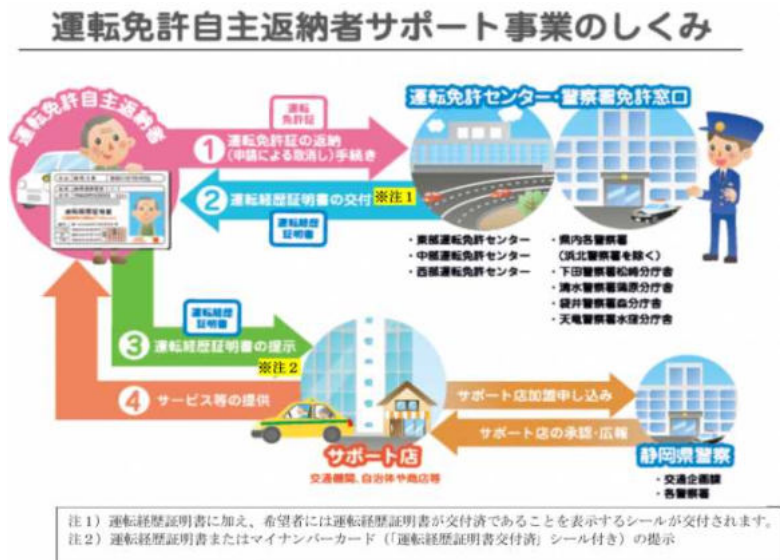


出典) 国土交通省自動車局旅客課「自家用有償旅客運送ハンドブック」

主要交通施策の例

【高齢者運転免許証自主返納支援事業の推進】

運転免許の自主返納者等の生活支援を目的として、自主返納者等が運転経歴証明書及びマイナンバーカードを自治体や店舗などに提示することで、様々な特典やサービスを受けられる仕組みを推進していきます。



出典) 静岡県警察署「運転免許自主返納者等サポート事業～運転免許自主返納者等をサポート!～」

【ユニバーサルデザイン対応バス車両の導入支援】

健康な方はもちろんのこと、足腰の弱い高齢者、車いす使用者、ベビーカー利用の親子連れ、妊娠中の方など、誰もが利用しやすい“みんなにやさしい新しいタクシー車両”の導入を支援していきます。



出典) 国土交通省「Universal Design Taxi～ユニバーサルデザインタクシーはみんなにやさしいタクシーです～」

戦略2. 世界に誇る「観光モビリティサービス」の構築

考え方

伊豆半島ジオパークなど、都市圏に点在する世界に誇る観光資源のネットワーク化、新たなモビリティの活用も含め、多様な移動手段が連携した観光周遊性の高い交通環境の構築、充実を目指します。

施策

● 円滑な観光周遊ネットワークの形成

- ✓ 観光自動車交通の特定路線への集中を緩和するための非混雑経路への誘導や公共交通の利用促進などにより、魅力あふれる観光周遊ネットワークの形成を図ります。

- ・地域公共交通計画の策定
- ・パークアンドライド、パークアンドトレインの導入
- ・観光地域づくり法人（DMO）の設立
- ・交通事業者の観光列車運行による魅力向上
- ・観光・景観周遊ルートの形成とルート案内（観光ガイド、周辺市町と連携した観光ガイド等）
- ・“なごみの伊豆 なごみの道”風景街道の取組支援

等

● 域内交通との連携による観光二次交通の充実

- ✓ 複数の観光地を巡る定期観光周遊バスの運行や、交通結節点と観光地間を結ぶ移動手段を確保することで、観光周遊の利便性向上を図ります。

- ・地域公共交通計画の策定
- ・複数の観光地を巡る観光周遊バスの運行（伊豆ドリームバス、湯～遊～バス等）
- ・鉄道運賃とセットでの観光プラン販売
- ・路線バスへの交通系ICカード導入に係る補助
- ・自転車や超小型モビリティのシェアリング、サイクルトレイン等の運行

等

● 新たなモビリティサービスの活用

- ✓ 自動運転車や超小型モビリティ及びカーシェアなど、新たなモビリティサービスを活用した観光活性化に向けた検討を進めます。

- ・地域公共交通計画の策定
- ・自動運転車の公共交通への活用検討
- ・超小型モビリティの活用検討

等

● ICTの活用による多様な交通手段が連携した交通システムの構築

- ✓ 交通系ICカードやスマートフォン等を活用し、様々な乗り継ぎ場面において、移動のシームレス化を図ります。

- ・複数の交通手段に対応した乗換、経路検索サービス情報の充実
- ・交通系ICカード等の活用による料金体系や補助の検討
- ・MaaSの拡大（Izuko等）

等

主要交通施策の例

【円滑な観光周遊ネットワークの形成】



1日目	2日目	3日目
JR静岡駅 浜東海線 約12分	東海バス松輪バス停 東海バス 約45分	伊豆急行伊豆北川駅 伊豆急行 約20分
JR清水駅 無料シャトルバス 約10分	伊豆急行伊豆下田駅 徒歩 約3分	伊豆急行伊豆高原駅 徒歩 約5分
清水港 駿河湾フェリー 約70分	平井製菓(下田あんぱん) 徒歩 数分	ケニーズハウスカフェ(スイーツ) 徒歩 約5分
土肥港 東海バス 約45分	下田町並み散策 徒歩 約10分	伊豆ティンアミュージアム 徒歩 約10分
東海バス仁科バス停 徒歩 約3分	古民家カフェ「平野屋」(ランチ) 徒歩 約10分	橋立吊り橋 徒歩 約10分
おきあがり食堂(イカ横断)など(ランチ) 徒歩 約3分	伊豆急行伊豆下田駅 伊豆急行 約10分	伊豆急行伊豆高原駅 徒歩 約10分
東海バス仁科バス停 東海バス 約5分	伊豆急行河津駅 徒歩 数分	伊豆急行川崎駅 徒歩 約40分
東海バス松輪バス停 徒歩 数分	峰温泉大噴湯公園・足湯・川津家神社など河津町散策 徒歩 数分	小室山公園・小室山リフト(ランチ) 徒歩 約40分
松輪町なまこ屋の町並み散策&桜葉スイーツ 徒歩 数分	伊豆急行河津駅 伊豆急行 約10分	伊豆急行川崎駅 JR伊東線 約25分
松輪の民謡に癒治	伊豆急行伊豆北川駅 徒歩 数分	JR熱海駅 JR熱海線 約25分



出典) 静岡県観光協会

出典) 風景街道中部地方協議会

【域内交通との連携による観光二次交通の充実】

▼湯〜遊〜バス ルートマップ



出典) 東海バス

主要交通施策の例

▼伊豆ドリームパス



フリーパス、電車
最大9日間のフリーパスがお得に使える!!

伊豆ドリームパス

フリーパス

路線	大人	小学生	幼児	乗車日数
伊豆急行線	3,700円	1,860円	-	3日
伊豆箱根線	3,900円	1,960円	-	3日
伊豆急行線+伊豆箱根線	2,800円	1,420円	-	2日

フリーパスのメリット

- フリーパス期間中は伊豆半島内を自由に利用できるフリーパスです。利用できる駅は「伊豆急行線」「伊豆箱根線」「伊豆急行線」の各路線全線です。伊豆急行線は伊豆急行線沿線の各駅でICカード専用ルート、伊豆箱根線は伊豆箱根線沿線の各駅でICカード専用ルートが利用できます。伊豆急行線と伊豆箱根線は伊豆急行線沿線の各駅でICカード専用ルートが利用できません。
- フリーパス期間中はフリーパス専用車両に優先乗車いただけます。
- フリーパス期間中はフリーパス専用車両に優先乗車いただけます。

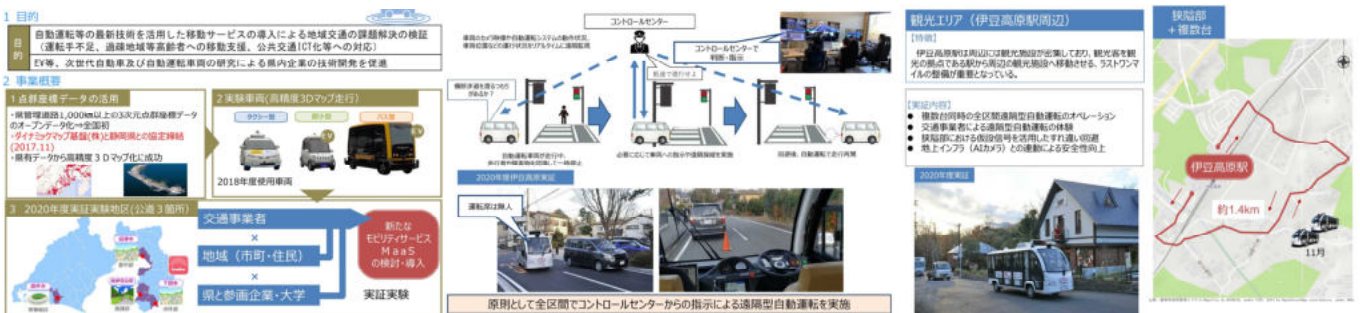
▼サイクルトレイン



出典) 伊豆急行

出典) 伊豆箱根鉄道

【新たなモビリティサービスの活用】



1 目的
自動運転等の最新技術を活用した移動サービスの導入による地域交通の課題解決の検証（運転手不足、道路地域等高齢者への移動支援、公共交通ICT化等への対応）
2 事業概要
3 2020年度実証実験地域（公道3箇所）
4 観光エリア（伊豆高原駅周辺）

出典) しずおか自動運転ShowCASEプロジェクト

【ICTの活用による多様な交通手段が連携した交通システムの構築】

複数の交通機関を乗り継ぐ場面において、移動経路の検索から予約、乗車、運賃の支払いまでをワンストップ化し、シームレスに移動できるサービス提供を目指します。



伊豆の旅行が、かつてないほど便利に。

Izuko

伊豆もっと便利にするサービス

伊豆半島観光振興協議会、2020年10月1日開始予定

伊豆急行株式会社、東急株式会社、伊豆箱根鉄道株式会社、株式会社ジェイアール東日本企画、伊豆急行株式会社



▼オリジナル観光商品のイメージ



出典) 東急株式会社、東日本旅客鉄道株式会社、株式会社ジェイアール東日本企画、伊豆急行株式会社

戦略3. 広域連携、交流を支える「都市連携軸」の強化

考え方

広域道路をはじめとする都市圏軸や交通結節点の整備により、鉄道主要駅や道路インターチェンジ等と都市拠点を連絡する広域的な移動ネットワークを形成することで、都市活力の創出、向上を目指します。

施策

● 広域道路、広域幹線道路の強化

- ✓ 都市圏内外の広域的な連携、交流を促進するため、広域道路、広域幹線道路を強化します。

- ・伊豆縦貫自動車道
- ・伊豆湘南道路
- ・国道135号（吉田～川奈拡幅）
- ・都市計画道路 武浜横枕線

● 物流や地域間連携を支えるネットワークの機能強化

- ✓ 平常時、災害時を問わない安定的な輸送を確保するため、重要物流道路や代替補完路が指定されていることから、道路の機能強化を図ります。

- | | |
|--|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・国道135号 ・国道136号 ・国道414号 ・主要地方道 熱海函南線 ・主要地方道 伊東修善寺線 ・主要地方道 熱海大仁線 ・主要地方道 伊東大仁線 | <ul style="list-style-type: none"> ・一般県道 中大見八幡野線 ・一般県道 河津下田線 ・都市計画道路 浜峰線 ・都市計画道路 池田楠ヶ洞線 |
|--|---|

● 広域交通結節点の機能強化

- ✓ 公共交通による都市圏内外の広域的な連携、交流を促進するため、都市圏の玄関口となる熱海駅、鉄道やバスの広域交通結節点となる伊東駅や下田駅などの交通結節点の利便性向上を図ります。

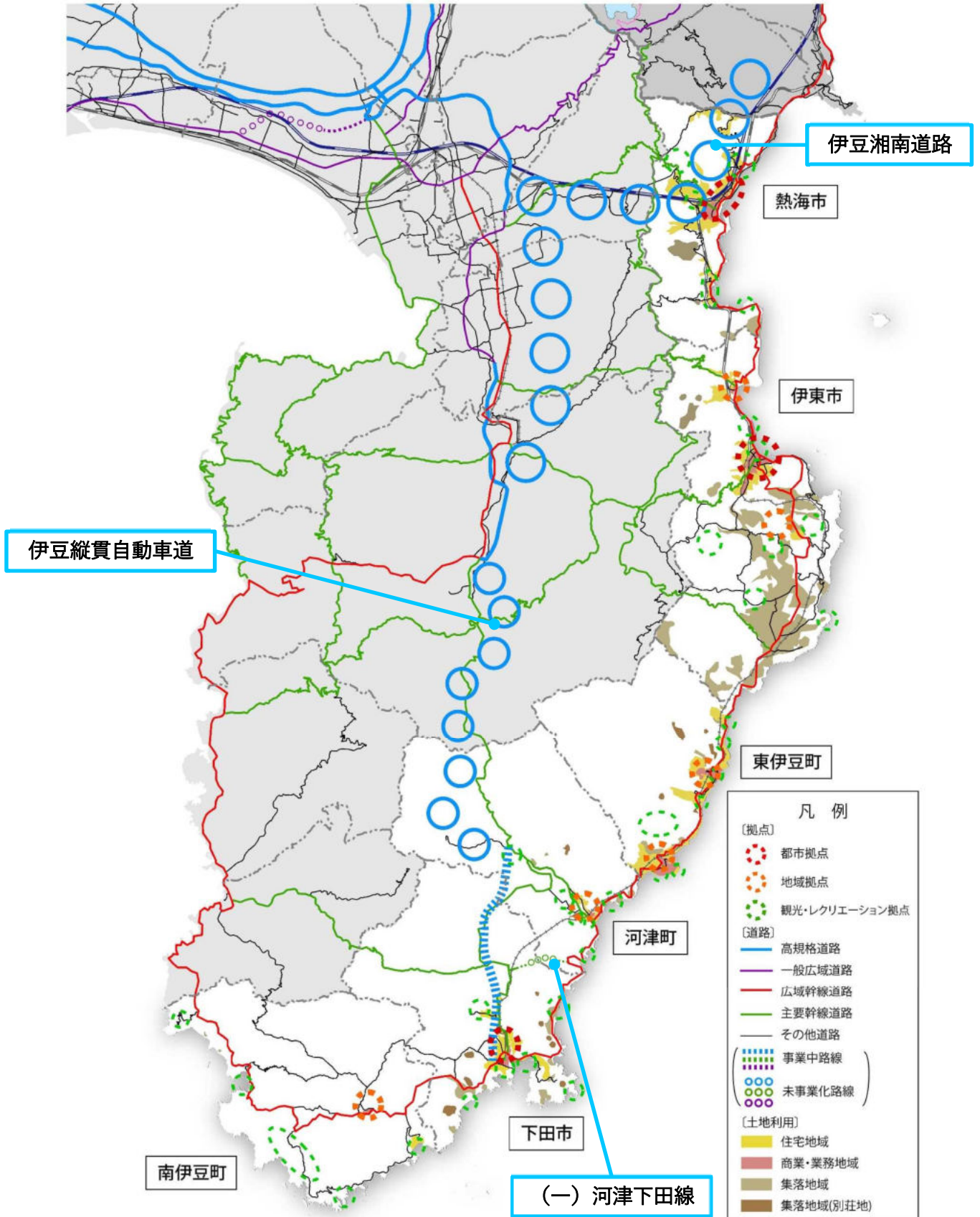
- ・熱海駅、伊東駅、下田駅の交通結節機能の強化
- ・伊東駅前広場の改良
- ・下田駅へのデジタルサイネージの設置
- ・伊豆地域公共交通計画の策定

等

主要交通施策の例

【広域道路、広域幹線道路の強化、物流や地域間連携を支えるネットワークの機能強化】

都市圏内外の広域的な連携、交流を促進するため、広域道路、広域幹線道路を強化します。



主要交通施策の例

【広域交通結節点の機能強化】

駅舎・駅ビル・駅前広場整備事業に伴い、駅前広場の適切な運用や維持管理を推進するとともに、より多くの利用者のニーズに対応した広域交通結節点を構築します。

▼伊東駅の駅舎の改修



駅コンコース



店舗内

出典) 東日本旅客鉄道

▼デジタルサイネージの設置状況

デジタルサイネージの設置

デジタルサイネージ

区分	伊豆急 下田駅	修善寺駅
設置向き	横置き	横置き
画面	49インチ	70インチ
解像度	フルハイビジョン (1920×1080)	

運用開始 H30.4月～

【バス運行時刻表示】
 ・リアルタイム運行状況を駅構内に表示
 ・多言語表示による案内
 ・系統番号による案内
 ・東海自動車、伊豆箱根バスの一元化

【観光情報の表示】
 ・地域の観光情報を表示
 ・バスの切符情報の表示
 ・季節の情報など

出典) 南伊豆・西伊豆地域公共交通活性化協議会



伊豆高原駅



河津駅

出典) 東伊豆・中伊豆地域公共交通活性化協議会

【伊東駅前広場の改良】

観光のまちにふさわしい駅前広場として、バス、タクシー、一般車などの自動車を円滑に処理し、歩行者が安全に乗り継ぎできる交通結節点広場の整備を目指します。

また、市民交流や観光交流の拠点となる駅前広場の実現と、災害時に避難でき、緊急活動の場として役立つことや生活環境の確保のための安全性快適性の確保を目指します。

▼伊東駅前広場整備検討



戦略4. 命をまもる「防災、減災機能」の強化

考え方

南海トラフ巨大地震や頻発化、激甚化する自然災害の脅威が迫るなか、災害に備え、速やかな支援、復旧ルートを確保することにより、都市機能の早期回復が可能となる交通環境の確保を目指します。

施策

● 緊急輸送路のネットワーク強化

- ✓ 大規模災害時の救援、支援活動などを円滑に行うため、道路施設を計画的に維持管理、更新することで、緊急輸送路のネットワークの確保、強化を図ります。

- ・ 緊急輸送路の多重性、代替性の確保
- ・ 道路構造物の耐震化の推進
- ・ 幹線道路の無電柱化の推進
- ・ 沿道建築物の耐震化の推進

等

● 避難路の整備

- ✓ 公園、緑地及び避難路を計画的に整備、配置することで、避難困難区域の解消を図ります。

- ・ 密集市街地や沿岸市街地における避難路の整備
- ・ 避難誘導標識の整備

等

● 事前都市復興計画策定等の推進

- ✓ 発災後の円滑な復興を進めるため、復興まちづくりの方向性や考え方をあらかじめ取りまとめるとともに、市民、事業者、行政等の協働による各種訓練等を実施します。

- ・ 事前都市復興計画の策定、改定
- ・ 復興まちづくり講座の実施
- ・ 市民、事業者、行政の協働による復興まちづくり計画（案）の検討

等

● 情報提供、代替手段の確保

- ✓ 地震発生時の津波や富士山噴火、伊豆東部火山群火山噴火などに対して、住民や観光客が迅速かつ主体的に避難できるよう、避難を後押しするソフト対策を推進します。

- ・ 発災時の情報提供
- ・ 発災時の避難シュミレーションの実施
- ・ 津波避難マップの策定、改定
- ・ 広域、官民連携の災害時交通マネジメントの拡充
- ・ 防災行政無線放送等の配信、確認サービス

等

主要交通施策の例

【緊急輸送路の多重性、代替性の確保】

大規模災害時の救援・支援活動を円滑に行うため、緊急輸送路の耐震化、無電柱化、沿道建築物の耐震化を進めます。

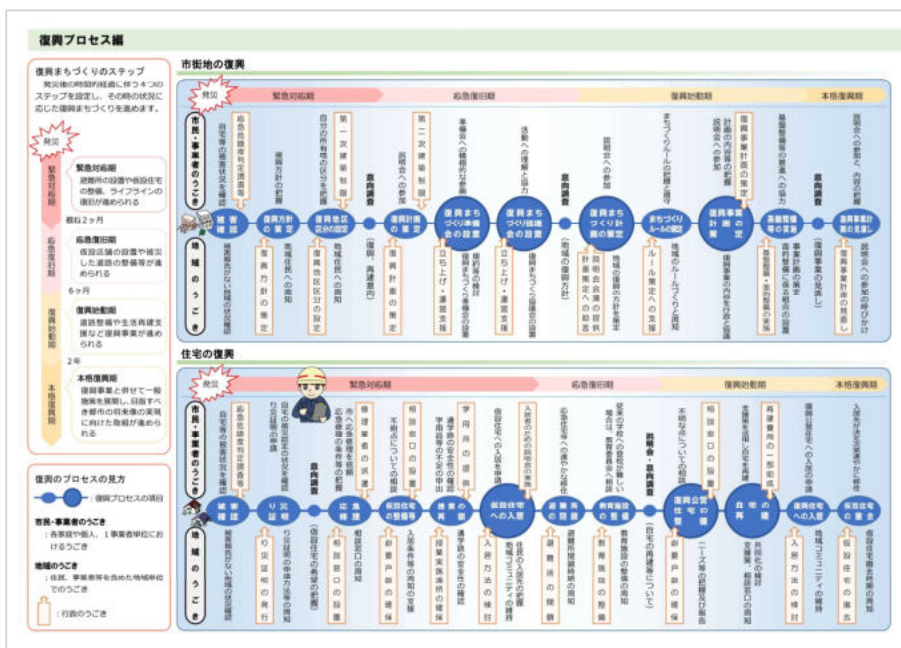
【幹線道路の無電柱化の推進】

無電柱化は、無電柱化により歩道の有効幅員を広げることで、通行空間の安全性・快適性を確保し、大規模災害（地震、竜巻、台風等）が起きた際に、電柱等が倒壊することによる道路の寸断を防止する観点から推進しています。



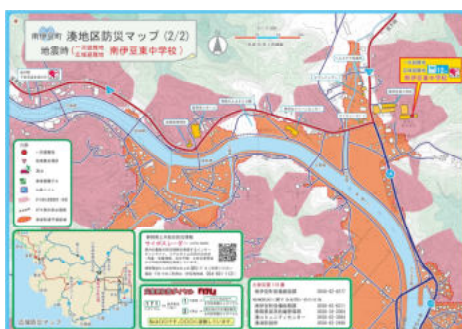
出典) 国土交通省

【事前都市復興計画策定等の推進】

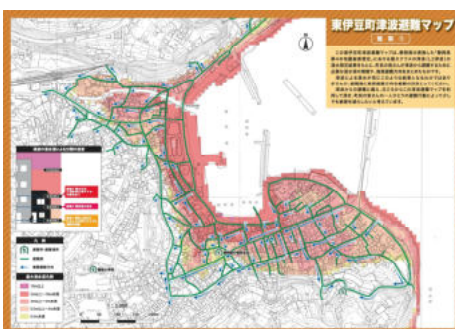


出典) 富士市事前都市復興計画 一概要版一

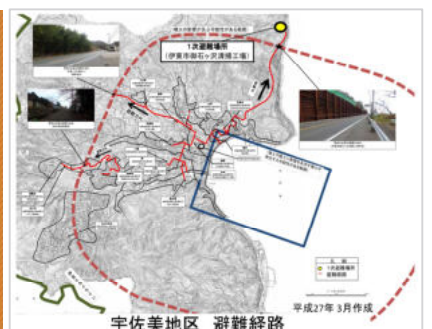
【情報提供】



出典) 防災マップ（南伊豆町）



出典) 東伊豆町津波避難マップ



出典) 伊豆東部火山群の伊東市避難計画